

**製品名: T2R43 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18570**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TAS2R43
別名	TAS2R43; Taste receptor type 2 member 43; T2R43; Taste receptor type 2 member 52; T2R52
遺伝子 ID	259289.0
SwissProt ID	P59537
免疫原	抗血清はヒト TAS2R43 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 124-173

**背景**

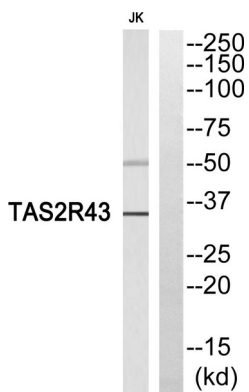
TAS2R43 は、大規模な TAS2R 受容体ファミリーに属します。TAS2R は味覚受容体細胞の表面に発現し、G タンパク質共役型セカンドメッセンジャー経路を介して苦味知覚を媒介します (Conte et al., 2002 [PubMed 12584440])。TAS2R の詳細については、MIM

604791 を参照してください。[OMIM 提供、2009 年 3 月]、機能: 苦味知覚に関与する可能性のある受容体で、ガストデューションと関連しています。消化管内容物の化学組成を感知する役割を果たしている可能性があります。この受容体の活性は、 $\alpha$ ガストデューションを刺激し、PLC- $\beta$ -2 の活性化を媒介し、TRPM5 のゲーティングにつながる可能性があります (類似性による)。スルホニルアミド甘味料であるサッカリンとアセスルファム K によって活性化されます。、その他:ほとんどの味覚細胞は限られた数の苦味化合物によって活性化される可能性があります。個々の味覚細胞は苦味刺激を区別することができます。、類似性:G タンパク質共役受容体 T2R ファミリーに属します。、組織特異性:舌の味覚受容体細胞のサブセットで発現し、ガストデューション陽性細胞でのみ発現します。、

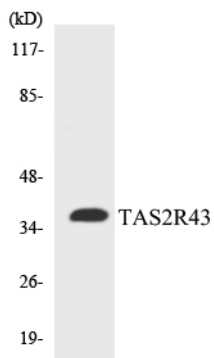
## 研究分野

味覚伝達;

## 画像データ



TAS2R43 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは TAS2R43 ペプチドでブロッキングされている。



TAS2R43 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。